

下肢静脈瘤とは？

その症状と治療法

「足の静脈がコブのようにふくらむ病気です」

下肢静脈瘤とは足の血管がふくれてこぶのようになる病気です。ただ、こぶ状になるだけでなく、曲がりくねったり、クモの巣状になるものもあります。静脈瘤は見た目の問題だけでなく、だるさやむくみ、こむらがえりなどの症状が日常的に起こり、患者さんを苦しめます。

重症になると、湿疹ができたり、皮膚が破れたり（潰瘍）、出血をおこすことがあります。自然に治ることはありませんので、生活の質を高めるためには治療が必要になります。



心臓血管外科部長 上山 克史

下肢静脈瘤の原因は？

■静脈は、心臓から送られた血液が全身を回って心臓に戻るときに通る道です。下肢の場合、重力に逆らって足から心臓に血液を戻さないといけないので、静脈の中には弁があり、立っている時には血液が足の方に逆流するのを防いでいます。

■下肢静脈瘤は、この静脈の弁が壊れることによって起こります。弁が壊れてきちんと閉まらないために下流の静脈に血液がたまり、静脈がふくらんでしまいます。また、汚れた血液が足にたまるために、むくみやだるさなどの症状が起こります。

下肢静脈瘤の症状

■下肢静脈瘤のおもな症状は、ふくらはぎのだるさや痛み、足のむくみなどです。これらは特に長時間立っていた後によく現れます。また、夜の寝ているときにおこる“こむら返り（足のつり）”も下肢静脈瘤が原因でおこることもあります。

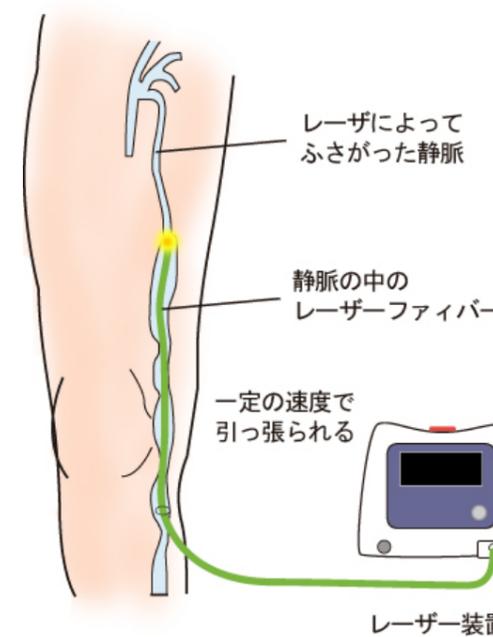
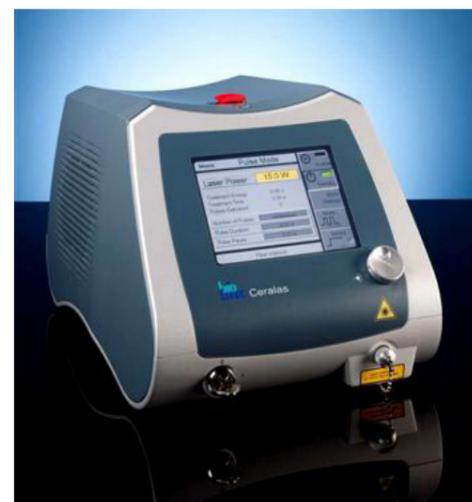
■症状が重くなると皮膚の循環がどんどん悪くなるため、湿疹や色素沈着などの皮膚炎をおこす事があります。皮膚炎が悪化すると潰瘍ができたり、出血することがあります。

下肢静脈瘤の治療法 ～ 適切な治療を選ぶのが大切

■下肢静脈瘤の保存的治療法には、弾性ストッキングを使う圧迫療法、注射で静脈を固める硬化療法があります。また手術療法には、静脈を引き抜くストリッピング手術と、レーザーで静脈を焼く血管内レーザー治療の2つがあります。それぞれ良い点と悪い点があり、治療後の痛みの程度や治療費に差があります。

■大切なことは静脈瘤のタイプと程度を正しく診断し、ご本人の年齢や生活習慣と希望をよくうかがって、適切な治療法を選択することです。また、どれか一つで治療が可能なわけではなく、手術の後、しばらくはストッキングの着用は必要ですし、さらに硬化療法を追加したりすることもあります。

血管内レーザー治療



1. 静脈除去手術（ストリッピング手術）、高位結紮術

■静脈除去手術（ストリッピング手術）、高位結紮術は静脈瘤の最も標準的な治療です。高位結紮術は多くの静脈瘤の原因となる鼠蹊部（足の付け根）部分の静脈を縛り、逆流を起こしている静脈の血流をなくします。また、ストリッピング手術は、逆流を起こしている静脈を抜き取る手術です。逆流を起こしている静脈は取ってしまっても何ら不都合はありません。

■当院では鼠蹊部 3cm ほど切開し、静脈を結紮した後、さらに逆流を起こしている静脈の一部（逆流を起こしている枝を含めた部分）を抜去する治療法（部分ストリッピング）を行っております。

■部分ストリッピングでは、大腿内側の膝下に 2cm ほどの切開を行います。基本的に腰から下の麻酔（腰椎麻酔）で行いますが、必要に応じて、弱い全身麻酔も併用しています。1泊2日の入院治療で行います。

2. 血管内レーザー治療

■レーザー治療は、静脈の中に細いレーザーファイバーを通して、レーザーの熱によって静脈をふさいでしまう方法です。以前から行われているストリッピング手術は悪くなった静脈を手術で取り除きますが、レーザー治療は中から静脈をふさいで血の流れをなくしてしまいます。

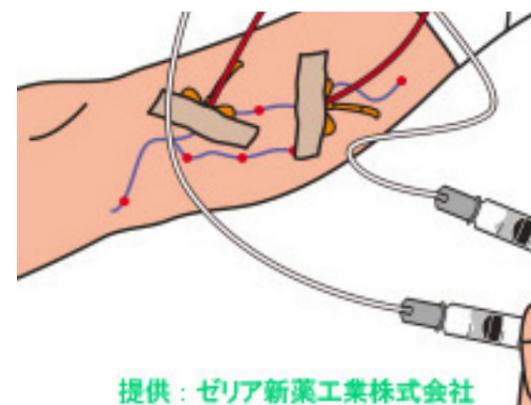
■レーザー治療の良い点は、一言でいうと身体に優しい“楽な”治療です。従来のストリッピング手術では足のつけ根を含め 3～4 か所の切開しなければならないのに対し、レーザー治療では膝の内側に細い針を刺すだけで治療することができます。また、局所麻酔で行いますので、手術終了後、すぐ歩くことも可能です。

■しかし、すべての静脈瘤がレーザーで治療できるわけではありません。状態によって切開を行わなければならない時もあります。当院ではレーザー治療も 1泊2日の入院治療で行っております。現在、北陸でレーザー治療が可能な施設は当院のみです。

下肢静脈瘤のおもな症状



硬化療法



硬化療法

■特殊な薬を静脈瘤に注射して血液の流れを遮断する治療法です。血管内レーザー治療、ストリッピング手術と併せて行うこともあります。麻酔の必要ありません。通常外来で行います。

弾力ストッキング療法

■下肢静脈瘤のすべての患者さんに着用をお勧めしています。特に、硬化療法・ストリッピング手術、血管内レーザー治療を受けられる方は、術後に病状に応じた強度のストッキングの着用が必要になります。

新任 Dr のご紹介

循環器内科 宮森 勇 医師

■専門は内分泌・糖尿病・高血圧です。心臓病になる前に健康管理を適正に行い予防しましょう。



プロフィール

昭和 46 年 金沢大学医学部卒業

- ・日本内科学会認定医
- ・日本循環器学会専門医
- ・日本高血圧学会専門医
- ・日本糖尿病学会専門医
- ・日本内分泌学会専門医

所属学会

- ・日本内科学会
- ・日本糖尿病学会
- ・日本内分泌学会
- ・日本腎臓学会
- ・日本循環器学会
- ・日本高血圧学会
- ・日本心血管内分泌代謝学会
- ・米国内分泌学会

新任 Dr のご紹介

心臓血管外科 西村 修 医師

■高い専門性と、安全で安心できる医療を展開したいと思います。患者さまの視線で物事を考えられる医師を目指しています。



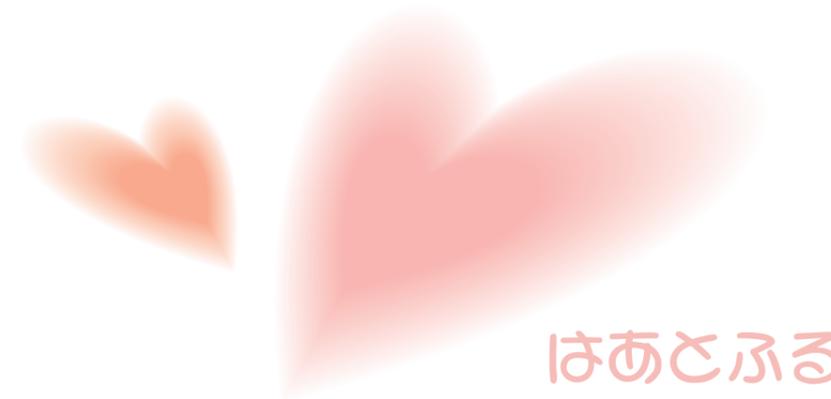
プロフィール

平成 17 年 弘前大学医学部卒業
・日本外科学会専門医

所属学会

- ・日本外科学会

- 下肢静脈瘤とは ~その症状と治療法~
- 新任 Dr のご紹介
- 地域医療連携室 ☎076-253-2220 (直通)



はあとふる

外来担当医一覧表

救急は 24 時間
365 日対応
☎ 076-253-8000

	月		火		水		木		金		土
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM
循環器内科	名村	初									①
	池田						初				①
	堀田		初		フ						①
	寺井	禁		初							①
	居軒							初			①
	坂田										①
	玉										①
	高木										
	宮森										
	小林										
心臓血管外科	上山武		リ								
	上山克									ペ	
脳神経外科	藤岡										
放射線科	分校										
整形外科	渡邊										②
呼吸器内科	南條										③
消化器内科	富永										
	鳴海										

初：初診専用外来 フ：フットケア外来 禁：禁煙外来 リ：リンパ浮腫外来
ペ：ペースメーカー外来 ①：7週に1回 ②第1・3週 ③第2週のみ

外来診療時間

月～金 9:00～12:00、13:30～16:00
土 9:00～12:00

当直医 直通電話

当院では、当直医用の携帯電話 (PHS) を用意しています。
当院通院中の方はもちろん、なんとなく心臓病が気になる方から各医療機関の先生方までご遠慮なくご利用ください。

当直医 直通番号

平日夜間、土日祝日の全日
☎ 070-5063-8000

地域医療連携室
患者様紹介・検査予約など
☎ 076-253-2220
※医療機関専用です



■病院理念■

循環器専門病院として、高度先進医療から老人医療にいたるまで「患者さま第一」のきめ細かい医療をおこないます。

■基本方針■

1. 優れたスタッフを充実させ 24 時間フル体制で先進医療を提供します。
2. 患者さまが安心と満足の得られる十分な説明と同意に基づいた治療をおこないます。
3. 病診連携を密にして地域のみなさまの健康と幸せな暮らしを守る病院を目指します。



浅ノ川病院グループ 金沢循環器病院
心臓血管センター
〒920-0007 石川県金沢市田中町は 16
TEL076-253-8000 FAX076-253-0008
http://www.kanazawa-heart.or.jp
info@kanazawa-heart.or.jp

編集 / 地域医療連携室 (M) TEL076-253-2220
はあとふる Vol.31 発行日 2012 年 5 月 21 日

浅ノ川病院グループ 心臓血管センター金沢循環器病院

www.kanazawa-heart.or.jp

spring 2012